

# 第一回保護者会 開催



会場となった明快志塾 荻窪校舎

12月2日 荻窪校舎において

明快志塾では、去る十二月二日（日）に、荻窪校舎におきまして、第一回保護者会を開催しました。これは明快志塾となつてからは初めての試みでしたが、多くの保護者の方々にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。今後保護者の方々と交流を目指して保護者会を企画していく予定ですので、よろしくご参加くださいますようお願いいたします。

## 保護者会の内容

まずは保護者会の内容を簡単に報告します。今回は中学生の保護者の方々を対象とさせていただきますので、主に

「高校受験に役立つ情報をお伝えする」ことをテーマにいたしました。

## 高校入試概要を説明

最初に、「私立高校入試」「公立高校入試」に分かれる入試システムの基本的な説明をさせていただきました。

次に詳しく「私立入試」

# 明快新聞



平成二十四年十二月五日発行  
編集者 明快志塾 勘定方 澁谷日出晴

の「単願推薦」「併願推薦」の合格の目安や「一般入試」の最近の傾向を示した「都立入試」では「推薦入試」において内申書の割合が変更になったことと、その結果重視されるであろう当日試験についてご説明しました。「都立一般入試」の採点基準の説明もさせていただきました。

加えて最近急増の「普通科」以外の「総合学科」や「専門学科」の説明や、「単位制」「コース制」「定時制」などの履修形式の説明も示しました。

## 厳選おススメ高校

加えて、荻窪で長年教室を開いてきた経験と、積極的に各高校に足を運んで得た最新情報に基づき、荻窪近在の通学圏内のおススメ高校を挙げさせていただきました。これなどは、他ではできない

## 背伸び本ののすすめ

第一回

### 『文章読本』丸谷才一

先日なくなられた丸谷才一さんの『文章読本』によると、日本語でよい文章を書くには三つの秘訣があるという。現代文や小論文の試験などで使えるその秘訣とはどのようなものか。

第一に「見たように書くのではなく、書くように見る（感じる）」というものの。文章とはそもそも、読む人に正しく意図を伝えることが目的であり、正しく伝えるには有効な書き方というものがある。この書き方の形式に沿って感じることで、おのずと説得力のある文章が書けるというわけである。

書き方の形式は、第二の秘訣「名文を多く読め」で身につける。名文とはこの場合、読んでいて書き手の意図が鮮やかに伝わる文章のこと。だから名文は、人それぞれ違う。自分にとっての名

文とはこの場合、読んでいて書き手の意図が鮮やかに伝わる文章のこと。だから名文は、人それぞれ違う。自分にとっての名



『文章読本』 中公文庫

## 池原宏希先生の自己紹介です

新しい先生を紹介いたします。

生徒のみなさん、こんにちは。そして保護者の皆様、はじめまして。池原宏希（いけはら ひろき）と申します。今年の7月から明快志塾で主に英語を担当しています。外見からでしょうか、日本にいても、海外にいても実年齢より若くみえるようです。生徒のみなさんは、今度教室で私を見かけたら、何かあててみてください。

これからどんどん寒くなっていきますが、体調に気を配りながら学習に臨みましょう！（池原先生・文）